

集中企画

本誌

独占公開!

インターネットエクスプローラ5
チューンアップ!

最新最強のブラウザとうたわれるインターネットエクスプローラ5をインストールしてみ、「なあんだこれだけ? IE4と変わらないじゃん」とがっかりした人は多いのではないだろうか。これまで雑誌やウェブで紹介された新機能を見ても、今いちピンとこないと思っではないだろうか。それもそのはず、IE5の便利さはちょっとやそっとでは見つけられない。隠れた機能を探し出し、チューンアップするのがIE5活用のポイントだ。インストールしたそのままの状態を使い続けるだけではもったいない。IE5の実力を限界まで引き出してみよう。それには本誌だけでしか読めないとおきのチューンアップ術が役に立つだろう。

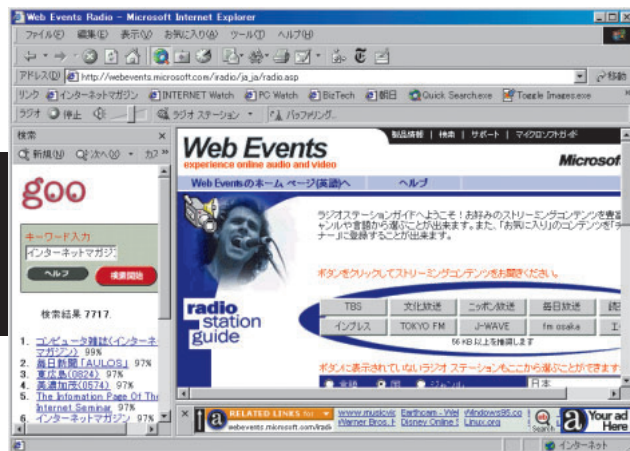
塩田紳二 + 編集部

internet explorer 5 tune up!

IE 5の本当の「すごさ」はここにある。

IE 5では、もっぱら移動ボタンやオートコンプリート機能ばかりが大きく取り上げられているようだ。確かにユーザーがすばやく効率的にウェブにアクセスできる新機能は重要だ。しかし、IE 5で注目すべき点はそれだけだろうか。

かつて大きく宣伝されたチャンネルがIE 5ではずされたことを考えてみよう。IE 4では、ユーザーが黙っていてもコンテンツが自動的にやってくるプッシュ機能に期待が集まった。しかしプッシュは結局流行しなかった。IE 5はユーザーに積極性を求めるようになった。自分なりの使いこなし方を見つければそれだけ利便性が増すのがIE 5の本当の「すごさ」だ。



カスタマイズが柔軟にできる!

ツールバーのボタンが変更できるようになったことに代表されるように、IE 5ではユーザーインターフェイスを自在にカスタマイズできる。インストールしたらず画面の構成を自分好みに変えてみよう。カスタマイズできるのはインターフェイスだけではない。インストールするコンポーネントは細かく選べるようになったし、アドインソフトも豊富に用意されている。アウトルックエクスプレス5の振り分け機能は大幅に向上した。ユーザーが上手に設定すればそれだけIE 5を便利なブラウザーに育てることができる。



internet explorer 5 tune up!

1. インストールを極めろ! ▶ P.194
2. 自分好みの画面を構成せよ! ▶ P.196
7. 詳細設定を知りつくせ! ▶ P.206
8. 最強のメッセージルールを作れ! ▶ P.208

ウェブ上のサービスと連携できる!

IE 5の目玉機能の1つがウェブを見ながらニュースや音楽を聴けるラジオバーだ。しかし実際にはラジオバーの本当の機能は「ラジオステーションガイド」にあると言っている。またアドレスバーやエクスプローラーを使った検索機能もエキサイトやライコスといった検索サイトと結び付いたものだ。関連サイト機能はアレクサ社の技術を使っているし、エクスプローラーにウェブサイトの情報を埋め込むアドインソフトもある。IE 5ではこれまで以上にウェブ上の各種のサービスと連携する機能が強化されている。



internet explorer 5 tune up!

3. ブラウザーを
検索サイトに変えろ! ▶ P.198
4. ラジオバーを使いこなせ! ▶ P.200

オフィスでもモバイルでも使える!

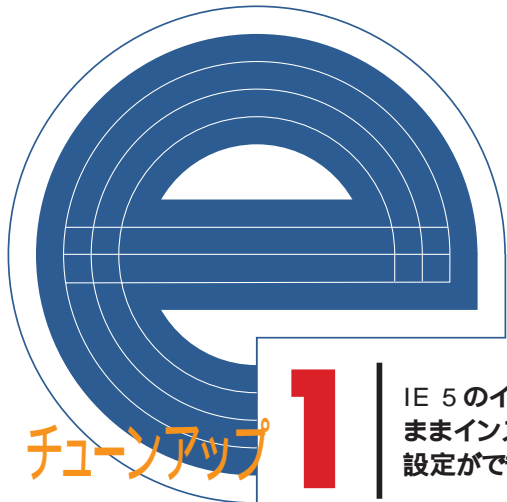
ブラウザーを漠然とウェブを見て回るために使うだけではつまらない。役立つ情報を効率よく保管し、整理して再利用するためのツールがIE 5だ。会社やモバイル環境、デスクトップやノートパソコンなどあらゆる場所でIE 5を使ってウェブを活用しよう。必要なページを一括してダウンロードして電車の中でゆっくり読むのもよし、会社のイントラネットで情報共有のために使うのもよし、幅広い活用法を身に付けてよう。「Web フォルダ」を使ってこの夏に出荷予定のオフィス2000との連携機能を予習しておくのもいいだろう。



internet explorer 5 tune up!

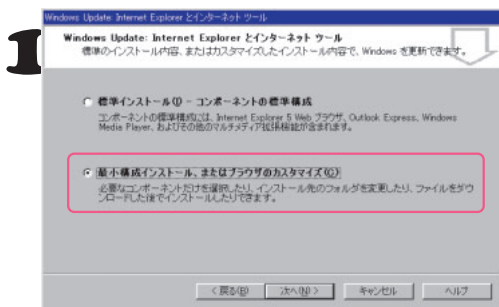
5. オフィスとモバイルで
使い分けろ! ▶ P.202
6. 「Web フォルダ」で
情報共有せよ! ▶ P.204

インストールを極める!



1

IE 5のインストールのポイントは「ブラウザのカスタマイズ」だ。IE 4を残したままインストールする設定やネットスケープとの共存を可能にする設定など細かい設定ができる。快適にIE 5を使うためにも、インストールからチューンアップだ。



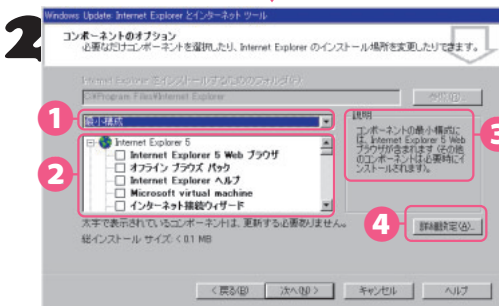
◀ インストールをカスタマイズする

IE 5には下表のようにたくさんの「コンポーネント」(アプリケーションやアプリケーションの部品)が用意されている。これらの中から自分が必要とするものだけを選んでインストールする。そうすればハードディスクの容量も無駄にならずに済むし、インストールの時間も短くなる。

画面1で「最小構成インストール、またはブラウザのカスタマイズ」を選択する。すると、画面2のような「コンポーネントのオプション」が表示される。ここで自分に必要なコンポーネントのチェックボックスにチェックを付ける。

インストールするコンポーネントを自由に指定するには、インストールプログラムの画

面1で「最小構成インストール、またはブラウザのカスタマイズ」を選択する。すると、画面2のような「コンポーネントのオプション」が表示される。ここで自分に必要なコンポーネントのチェックボックスにチェックを付ける。



Internet Explorer 5 全コンポーネント一覧

分類	コンポーネント名	最小構成	標準構成	完全構成	編集部おすすめ	アンインストール
Internet Explorer 5	Internet Explorer 5 Web ブラウザ					
	オンライン ブラウズ パック					
	Internet Explorer ヘルプ					
	Microsoft virtual machine					
	インターネット接続ウィザード					
	Internet Explorer コア フォント					
	ダイナミックHTMLデータ バインド					
Internet Explorer ブラウズ拡張機能						
通信 コンポーネント	NetMeeting					
	Outlook Express					
	Chat 2.5					
マルチメディア コンポーネント	Windows Media Player					
	Windows Media Player Codecs					
	Media Player RealNetworks サポート					
	DirectAnimation					
	Vector Graphics Rendering (VML)					
	AOL ART イメージ フォーマット サポート					
	Macromedia Shockwave					
Macromedia Flash Player						
Web オーサリング コンポーネント	FrontPage Express					
	Web発行ウィザード					
	Webフォルダ					
	Visual Basic スクリプト サポート					
追加コンポーネント	追加 Web フォント					
追加コンポーネント	Wallet					
複数の言語サポート	言語の自動選択					

複数の言語サポートには上記のほかに、韓国語やヨーロッパ各国語、中国語、ヘブライ語などの表示と入力をサポートするコンポーネントが含まれている。これらのコンポーネントは完全インストールでもインストールされないため、インストールする場合は必要なものにチェックを付ける必要がある。

1 インストールするコンポーネントを最小、標準、完全の3つの構成から選択できる。

2 このリストからインストールするコンポーネントを選択できる。すでにインストールされているものは太字で表示される。

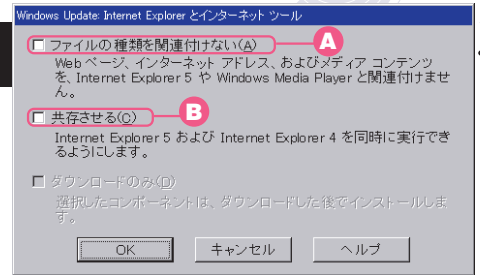
3 リストでコンポーネントを選択すると、そのコンポーネントの説明が表示される。

4 ネットスケープナビゲーターを標準のブラウザとして使う場合やIE 4と共存させる場合にこのボタンを押して設定をする。

▶ IE 4を残したまま IE 5をインストールする

IE 5ではIE 4を残したままインストールできるようになっている。これはホームページ作成者には非常に助かる仕様だ。というのも、まだまだ世の中にはIE 4ユーザーが多いため、ホームページの見え方のチェックをIE 4とIE 5で試さなくてはならないのだ。ちなみに、残念ながらIE 3と以前のバージョンのアウトLOOKエクスプレスは残せない。

IE 4とIE 5を共存させる方法は、「コンポーネントのオプション」の「詳細設定」ボタンをクリックして、開いたウィンドウの「共存させる」にチェックをするだけだ(画面1-B)。インストール後は、ウィンドウズの「スタート」メニュー「プログラム」「Internet Explorer」からIE 4を起動できるようにする。



1

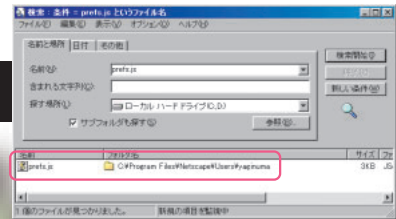
▶ ナビゲーター派の人は関連付けに注意

ネットスケープナビゲーターを標準のブラウザとして使っている場合、IE5をインストールして一番問題になるのはインターネット関係のアプリケーションとファイルの関連付けが変更されてしまうことだ。中でも一番大きい問題はHTMLファイルそのものを表示するアプリケーションが変わってしまうことだろう。

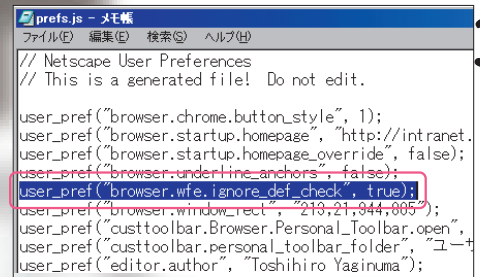
IE 5ではこの問題の対策も用意されている。「コンポーネントのオプション」の「詳細設定」ボタンをクリックして、「ファイルの種類を関連付けしない」にチェックするだけだ(画

面1-A)。これでIE 5をインストールしてもファイルの関連付けを回避できる。

すでにファイルの関連付けが変更されてしまった場合は、ウィンドウズのファイル検索機能で「prefs.js」というファイルを探して、メモ帳などで開く(画面2)。ファイルの中にある「user_pref("browser.wfe.ignore_def_check", true);」という行を削除して、上書き保存する(画面3)。これでネットスケープナビゲーターの起動時に、通常使うブラウザにするかどうかを聞いてくれるようになる。



2



3

▶ 不要なコンポーネントは削除する

あとから不要なコンポーネントを削除する場合は、まず、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」アイコンをクリックして「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスの「インストールと削除」タブを選択する(画面1)。単独でも利用できる「NetMeeting」などのアプリケーションやいくつかのコンポーネントは、こちらのリストボックスにある項目を選んで「追加と削除」ボタンをクリックすることで削除される。

しかし、このリストボックスに項目のないコンポーネントは、IE 5全体をアンインストールすることでしか削除できない。どうしても削除したいコンポーネントがあるなら、IE 5をアンインストールしてから再度必要なコン

ポーネントだけを選んでインストールしよう。

IE 5のアンインストールは、リストボックスにある「Microsoft Internet Explorer 5とインターネットツール」を選択して「追加と削除」ボタンを押す。「コンポーネントの追加」、「Internet Explorerの修復」、「以前のWindowsの設定を戻す」という3つの選択肢が表示されるので「以前のWindowsの設定を戻す」を選ぶ(画面2)。これでIE 5をインストールする前の状態に戻る。



1

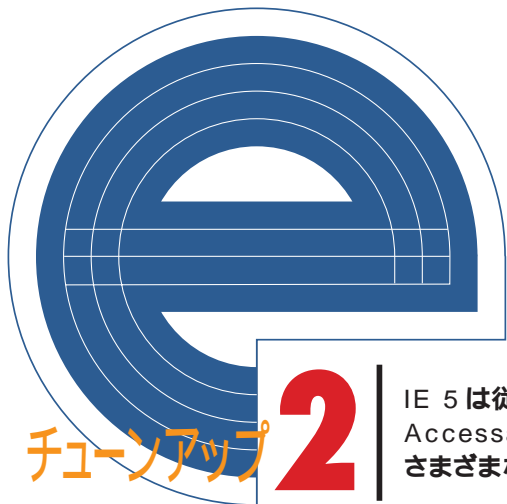


2

1 削除したいアプリケーションやコンポーネントを選択する。

2 「追加と削除」ボタンを押すと削除(アンインストール)が始まる。

自分好みの画面を構成せよ!



IE 5は従来のバージョンより細かくカスタマイズが可能で、加えて「Web Accessary」というアドインソフトが使える。インターフェイスや追加機能など、さまざまな要素を組み合わせ、自分だけのオリジナルIE 5を作ってみよう。

◀ ここまで変えられる IE 5

表示や各機能を細かくカスタマイズできるのもIE 5の特徴の1つだ。ツールバーの表示と非表示の切り替えはIE 4でも可能だったが、IE 5では標準ツールバーのボタンの種類やテキストの表示方法なども設定できる。また、検索や履歴のエクスプローラー（ウィンドウの左側に表示される領域）もカスタマイズできる

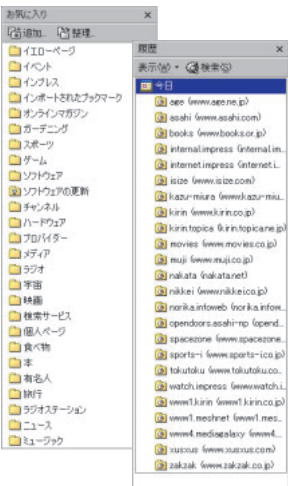
ようになっている。このほか、ヒントをウィンドウの下の部分に表示できるようになった。

① 4つのツールバーの表示
ツールバー、アドレスバー、リンカーバー、ラジオバーのそれぞれの表示と非表示が切り替えられる。また、アドインソフトで表示や機能を追加できる。設定は「表示」メニューの「ツールバー」で行う。

② 「移動」ボタンの表示
アドレスバーの右端にある「移動」ボタンの表示と非表示が切り替えられる。設定はアドレスバー上で右クリックして、表示されたメニューの「移動ボタン」で行う。

③ ツールバーのボタンの表示
ツールバーのボタンのテキストを、アイコンの下に表示させるか、右に表示させるか、表示させないかを選択できる。また、アイコンの大小の指定もできる。また、表示するボタンを追加したり、位置を変えたりもできる。

④ ヒントの表示
ウィンドウの下部に、IE 5を使ううえでヒントが書かれたウィンドウを表示できる。また、アドインで機能を追加することも可能だ。この設定は「表示」メニューの「エクスプローラー」で行う。



⑤ ステータスバーの表示
コンテンツ受信時の状態などを表示するステータスバーの表示・非表示を選択できる。この設定は「表示」メニューの「ステータスバー」で行う。

⑥ エクスプローラーの表示
ウィンドウの左側に検索、お気に入り、履歴、フォルダそれぞれのエクスプローラーを表示できる。検索と履歴のエクスプローラーは、設定で表示方法などを変更できる。設定は「表示」メニューの「エクスプローラー」で行う。



◀ シンプル派の人はすべてを非表示に

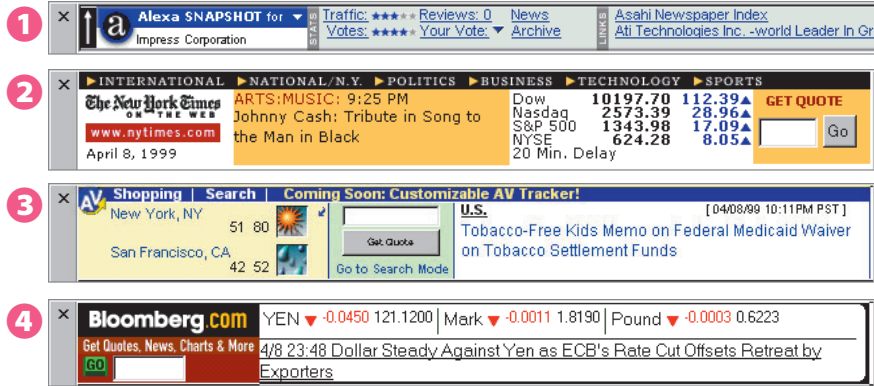
シンプルな画面が好きな人やノートパソコンなどでモニターの解像度があまり高くないパソコンを使っている人は、ツールバーを1列にまとめたり、すべてを非表示にしたりしたウィンドウにしてみよう。ウェブサイトの表示領域はかなり広がるはずだ。この場合は、キーボードショートカットやマウスの右クリックメニューなどを使ってIE 5を操作しよう。

ショートカットキー	動作
F11	ウィンドウの全画面表示と通常表示の切り替え
Alt + Home	ホームページへ移動
Ctrl + F	このページの検索
F5 / Ctrl + F5	ページ再読込 / 強制的に再読込
Ctrl + O (または Ctrl + L)	新しいページの表示
Ctrl + N	新しいウィンドウの表示
Ctrl + W	現在のウィンドウを閉じる
Ctrl + S	現在のページを保存
Ctrl + P	現在のページまたはアクティブなフレームを印刷
Ctrl + E	エクスプローラーの「検索」の表示
Ctrl + I	エクスプローラーの「お気に入り」の表示
Ctrl + H	エクスプローラーの「履歴」の表示
Alt +	次のページへ移動
Alt + (または BackSpace)	前のページへ移動
Shift + F10	右クリックメニューを表示

▶ エクスプローラバー用のアドインをGet

IE 5ではメインウィンドウの下の部分にもエクスプローラバーを表示できる。標準では「ヒント」の表示だけだが、各社から提供されているモジュールを組み込むことで、さまざまな情報を表示できるようになる。このモ

ジュールの情報は、米国マイクロソフト社の「Web Accessories」のページ (<http://www.microsoft.com/Windows/IE/WebAccess/>) に掲載されている。さっそくダウンロードしてみよう。



① Alexa Explorer bar (Alexa)
「Alexa Explorer bar」は表示されているURLの関連サイトを表示する「Related Link」、トラフィックや更新度、人気度などを表示する「Site States」、これらの情報をまとめて表示する「Alexa Snapshot」などの機能を持つ。

② The New York Times Explorer bar (the New York Times)
毎日最新のニュースのヘッドラインが10分ごとに更新される。カテゴリーも世界のニュース、経済ニュース、テクノロジーニュース、スポーツニュースなど幅広い。ヘッドラインをクリックすると、ウェブサイトの詳しい記事が読める。

③ AV Power Tools (AltaVista)
検索サービス「AltaVista」が提供するアドイン。スポーツ速報や株価、ニュースなどが表示される「Tracker」という機能が便利。また、英語、フランス語、ドイツ語など、5か国語の翻訳機能（日本語には未対応）も持つ。

④ Bloomberg Explorer bar (Bloomberg)
米国の株式状況や為替レート、経済ニュースなどが表示されるのはもちろん、日経平均株価も順次表示される。情報は24時間、随時最新のものに更新されている。また、企業の詳細なデータを見ることがも可能だ。

▶ Web AccessoriesでIE5をカスタマイズ

上記のWeb Accessoriesのページからはエクスプローラバーのほかに、IE5にちょっとした機能を追加するツールがダウンロードできる。まず、「Web Accessories for Internet Explorer 5」には便利な機能が満載だ。表示しているウェブページの画像だけを一覧表示したり、リンクだけを別ウィンドウで表示したりできる。「Toolbar Wallpaper」はツールバーにビットマップデータを貼り付けられるようにするツール。自分だけのIE5を作れるのだ。ぜひ試してみよう。



▶ NeoplanetでIE5をクールに

IEをベースにして、見かけはまったく新しいWWWブラウザを作ってしまったのがNetPlanet (<http://www.neoplanet.com/>)だ。これはWWWブラウザとポータルサイトの機能が一体化したもので、細かくカスタマイズができるのが特徴。同社はこのソフトウェアをメーカーなどにOEMするビジネスを

展開している。また、このNeoplanetにはインターフェイスのデザインを変えられる「Skin」という機能もあり、同社のウェブサイトにはたくさんのクールなSkinデータが登録されている。ただ残念なのは、日本語のホームページは見られるものの、ブックマークなどいくつかの部分が文字化けしてしまう点だ。



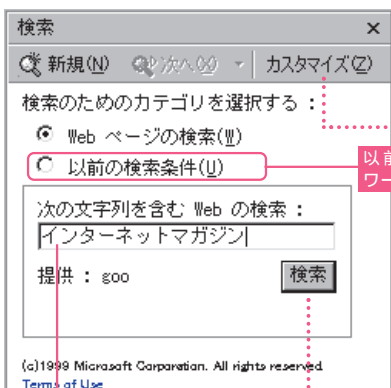
ブラウザを検索 サイトに変える!

チューンアップ 3

ウェブを活用するうえでもっとも重要なのは「検索」だ。IE 5はそれ自体が検索サイトのインターフェイスを持っている。エクスプローラバーでもアドレスバーでも、どこからでも検索できる。IE 5のありとあらゆる検索方法をマスターしよう。

1

検索バーを使う



キーワードを入力して検索を押す

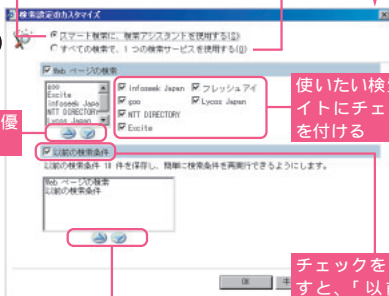
以前に入力したキーワードのリストを表示

カスタマイズ画面へ

複数の検索サイトを使う

1つの検索サイトだけを使う

3



検索サイトの優先順位を設定

使いたい検索サイトにチェックを付ける

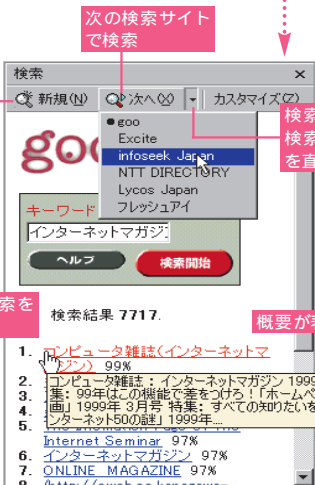
チェックをはずすと、「以前の検索条件」を使わない

「Web ページの検索」と「以前の検索条件」のどちらを上にするかを設定

1 ツールバーの検索ボタンを押すと、エクスプローラバーが検索バーになる。検索バーに探したいキーワードを入力して「検索」をクリックすれば、検索結果が検索バーに表示される。入力したキーワードは保存され、「以前の検索条件」をクリックすると過去に検索した語句の一覧が出る。

2 あるサイトで検索してから「次へ」ボタンを押すと、設定した優先順位で別の検索サイトから検索できる。検索結果のリンクの上にマウスカーソルを置くと、ツールヘルプで概要が表示される (goo、インフォseek、エキサイト、フレッシュアイの場合。ライコスは「+」記号のクリックで概要を表示)。

3 IE 5では複数の検索サイトを利用できる。日本語版ではgoo、インフォseek、エキサイト、フレッシュアイ、ライコス、NTT DIRECTORYの6つだ。検索バーの上部にある「カスタマイズ」ボタンを押せば、検索サイトの優先順位などを設定できる。



最初から検索をやり直す

検索結果 7717.

概要が表示される

2

検索させる検索サイトを直接指定

次の検索サイトで検索

英語版の検索バーはもっとすごい

日本語版のIE 5で検索バーに表示されるのは普通の検索サイトだけだが、英語版では人名、会社名、地図、百科事典などが検索バーから検索できる。どれも米国用のサービスだが、日本語版のIE 5でもこうしたサービスが始まってほしいものだ。レジストリーの操作に自信があるなら、日本語版

のIE 5で英語版の検索バーを使う設定ができる。レジストリーのHKEY_LOCAL_MACHINE Software Microsoft Internet Explorer Searchにある「CustomizeSearch」と「Search Assistant」の2つの値に含まれている「{SUB_RFC1766}」を「en-us」に変更すればよい。

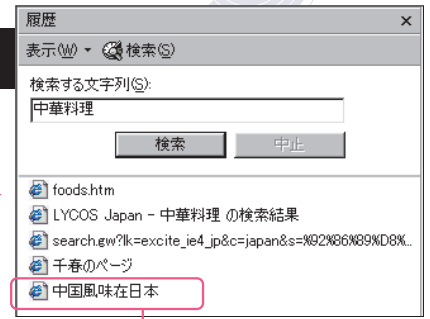


履歴から検索する

IE 4の履歴は検索ができず、ナビゲーターに後れを取っていたが、IE 5から履歴の検索機能が加わった。履歴バー上部の「検索」を押して、キーワードを入力して「検索」ボタンを押すと、キーワードが含まれるページがリストとして表示される。タイトルやURLにキーワードがなくてもヒットする。ただし、ページにアクセスした日時などは表示されない。

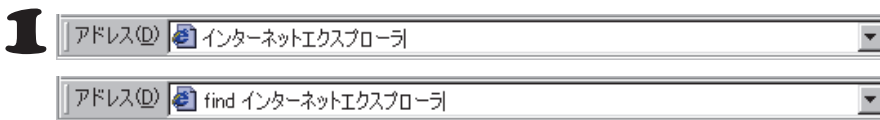


キーワードを入力して「検索」を押す



結果をクリックするとジャンプする

アドレスバーからの検索を極める

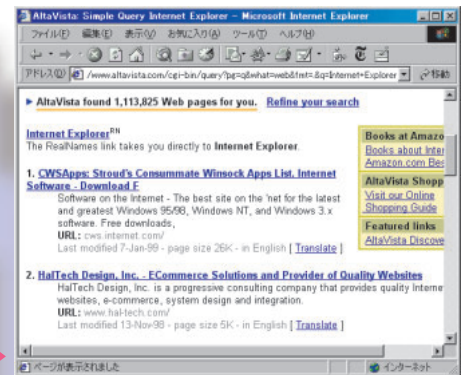
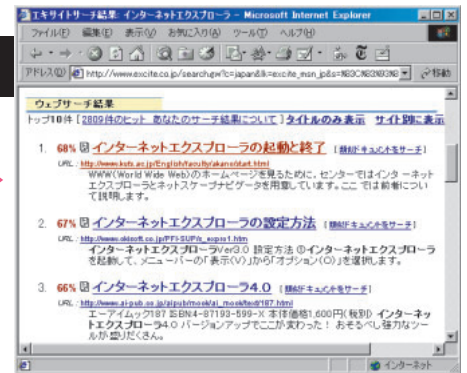


IE5では、アドレスバーに直接キーワードを入れるか、「?」、「find」、「go」、「search」のどれかを入力してスペースとキーワードを続けて入力すれば、キーワードが検索サイトで検索できる。日本語版ではエキサイトが検索サイトとして使われる。

キーワードを入れるときに、キーワードが入力したことのあるURLやお気に入りのフォルダー名と一致するとそれが候補として登場してしまう。「?」や「find」を先頭に付けると、強制的に検索キーワードの指定になる。

2 P.197で紹介した「Web Accessories for IE5」をインストールして「QuickSearch」を起動すると、キーワードの前に「av」（アルタビスタ）、「y」（ヤフー）のように検索サイトを指定した検索ができるようになる（ただしアメリカの検索サイト）。

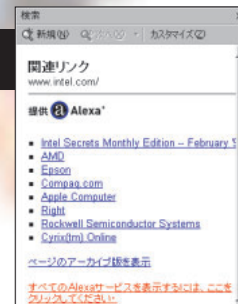
なお、この「QuickSearch」は英語版のため、「お気に入り」の下の「Links」フォルダーに置かれる。これを「リンク」フォルダーに移動すればリンクバーから「QuickSearch」が利用できるようになる。「QuickSearch」を一度起動して「Save」ボタンを押せば、次回からは検索サイトを指定した検索ができる。



関連サイトを使う

ツールバーのボタンを変更して「関連先」ボタンを表示させてみよう（P.196参照）。このボタンを押すと、現在表示しているページの内容に関連したサイトの一覧が検索バーに表示される。たとえば、インテルのページなら、AMDやCyrixのページなどが候補として表示される。

これは、アレクサ社（http://www.alexa.com）のサービスを利用したものだ。同社のサイトやP.197ページで紹介している「Web Accessories」のページにある「Alexa Explorer bar」をインストールすると、ページを読み込むたびに関連サイトが表示されるようになる。



「関連先」ボタン



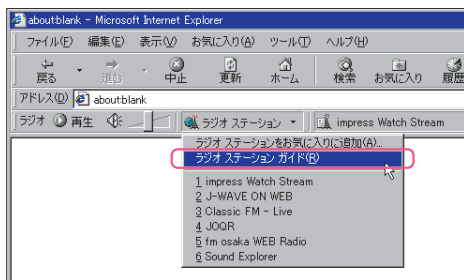
「Alexa Explorer bar」

ラジオパーを 使いになせ!

チューンアップ 4

IE 5はインターネット上のストリーミング放送番組に簡単にアクセスできるラジオパーを備えている。お気に入りの音楽を聴きながらウェブを見て回れるのだ。ここでは、このラジオパーの使い方と自分好みの番組を見つける方法を解説しよう。

1



ラジオステーションへGO!

IE 5の新機能であるラジオパーを使うには、まず、「表示」メニュー「ツールバー」「ラジオ」を選んで、ラジオパーを表示させる。ラジオパーの「ラジオステーション」ボタンをクリックして、表示されたメニューから「ラジオステーションガイド」を選択する(このとき、インターネットに接続している必要がある)(画面1)。

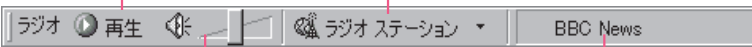
ラジオステーションガイドには日本国内のラジオステーション(放送局)が表示されている。ここで並んでいるボタンを押すと、各ラジオステーションのウェブサイトへアクセスする(画面2)。ラジオステーションには「Play with Radio Bar」のようなリンクやボタンが用意されている(画面3)。これをクリックすると音楽やニュースなどが流れ出す。

2



再生 / 停止ボタン
番組の再生と停止を行う。

ラジオステーションボタン
表示しているラジオステーションをお気に入りに登録できるほか、ラジオステーションガイドへのアクセスと、過去に聴いた番組の6つまでを再生できる。



ミュートボタンとボリュームコントロール
スピーカーのアイコンをクリックするとミュート(消音)する。バーは左右にスライドさせることでボリュームの調節ができる。

ステータス
再生中の番組のタイトルや「再生中」、「バッファリング」といった番組の受信状態などを表示する。

3

好きな番組をお気に入りに登録

1



気に入ったラジオステーションがあれば、ウェブサイトに登録するIEの「お気に入り」と同じように登録して管理できる。まず、ブラウザに登録するラジオステーションのウェブサイトを表示させる。次にラジオパーの「ラジオステーション」ボタンをクリックして、表示されたメニューから「ラジオステーションをお気に入りに追加」を選ぶ(画面1)。これだけでOKだ。そのまま登録すればIE 5の「お気に入り」

フォルダーの直下に入るが、新たに「ラジオステーション」のようなフォルダーを作成して、そこに入れてもいい。また、ウェブサイトと同様に、ニュースやスポーツ、音楽のジャンルなどでフォルダーに分けて管理するのもいいだろう。

ラジオステーションのアイコンは、ウェブサイトとは別の画面2のようなアイコンで表示されるので「お気に入り」に一緒に登録しておいても区別は容易だ。

2



▶ 海外の番組を探す

ラジオステーションガイドには国内のサイトだけでなく、世界各国にあるラジオステーションも登録されている。

「言語」「国」「番組」という3つのカテ

リーに分けられたリストボックスから該当する項目を選択すれば、登録されているラジオステーションのリストが表示される。表示されたリストから「聴く」をクリックして直接

番組を聴くこともできるし、「ホームページ」をクリックして番組内容などを見ることもできる。

気に入った番組があったら、10個あるボタンに登録したり、お気に入りに登録したりしておこう。ボタンに登録するには、気に入ったサイトのラジオボタンにチェックを付けて、変更したいボタンをクリックすればいい。



① お気に入りのラジオステーションを10サイトまで登録できるボタン。

② 世界各国にあるラジオステーションを、言語、国、ジャンルの3つに分類している。

③ ラジオボタンにチェックを付けると、選択したカテゴリーが左のプルダウンメニューに表示される。カテゴリーを選ぶとラジオステーションのリストが表示される。



編集部おすすめ番組一覧

avex internet radio

<http://www.avexnet.or.jp/radiobar/>
最新のダンスミュージックの情報満載。

fm osaka - HIT RADIO STATION 851

<http://www.fmosaka.co.jp/radio/>
最新のJPOPのヒット曲をチェックできる。

impress Watch Stream

<http://www.watch.impress.co.jp/headline/radio/>
時事ニュースからパソコンの話題まで提供。

J-WAVE INTERNET BROADCAST

<http://www.j-wave.co.jp/radiobar/>
普段の放送では聴けないレアな内容。

JOLF1242 Internet Radio

<http://www.fujisankei-g.co.jp/jolf/radio/>
お笑いからスポーツ中継まで幅広く提供。

Sound Explorer

<http://www.soundx.net/top.htm>
世界中のこの瞬間の“生の音”が聴ける。

Yomiuri News Stream

<http://www.yomiuri.co.jp/stream/>
毎日更新されるその日のニュースが聴ける。

Classic FM

<http://www.classicfm.co.uk/>
イギリスのクラシック専門番組。

Jazz fm

<http://www.jazzfm.com/>
イギリスのジャズ専門番組。

BBC News

<http://www.broadcast.com/bbc/>
世界中の話題を提供するニュース番組。

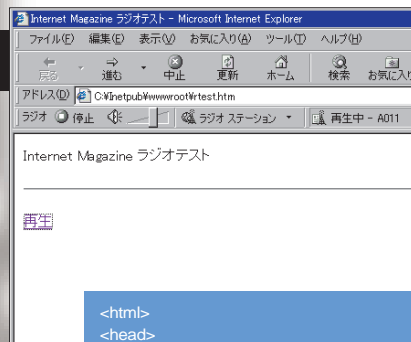
▶ 自分でラジオ局を開設するには

IE 5のラジオバーの機能は、IE 5と同時にインストールされる「Windows Media Player」の機能そのままだ。このため、Media Playerで再生できるフォーマットであれば、どのようなフォーマットでも番組として聴くことができる。

最も簡単な方法では、右図のようなHTMLファイルを作って、再生したいファイルのリンクを埋め込めば、簡単にラジオステーションができあがる。

なお、マイクロソフトのサイトにある「Net ShowTools」(<http://download.jp.microsoft.com/sitebuilder/thisWeek/>

Nstools.exe)を使うと、モデルなどの転送レートに応じた圧縮を行ったストリーミングデータを作ることができる。



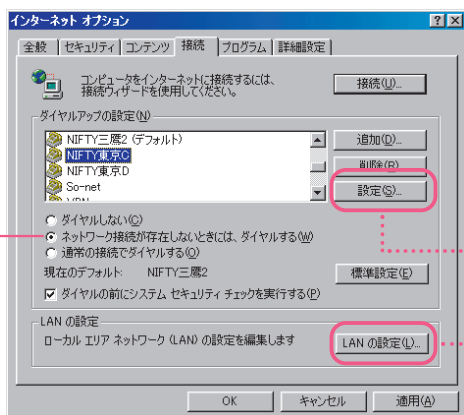
vnd.ms.radio:の後に、再生したいファイルのリンク(URL)を埋め込む。

```
<html>
<head>
<title>Internet Magazine ラジオテスト</title>
</head>
<body>
<p>Internet Magazine ラジオテスト</p>
<hr>
<p><a href="vnd.ms.radio: http://www.****.ne.jp/yagi/A011.mp3">再生
</a></p>
</body>
</html>
```

オフィスとモバイルで 使い分けろ!

チューンアップ 5

ノートパソコンを会社ではLANに接続し、家ではダイヤルアップで接続する。接続中に集めたデータはオフラインでゆっくり見る。IE 5はそんな生活を送るユーザーにはぴったりだ。オフィスとモバイルで快適に過ごすための設定をしよう。



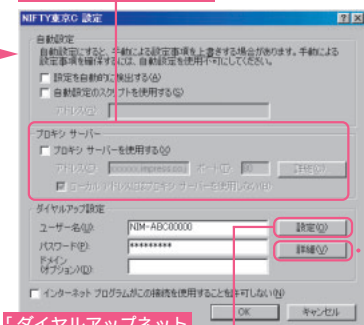
1 「ツール」メニュー 「インターネットオプション」 「接続」タブ

社内ではLANに接続し、プロバイダーへはダイヤルアップする場合は、「ネットワーク接続が存在しない」ときは、「ダイヤルする」がおすすめ

LAN内のプロキシの設定

◀ 接続ごとにプロキシを変える

プロバイダーのプロキシサーバーを使う場合はここで設定



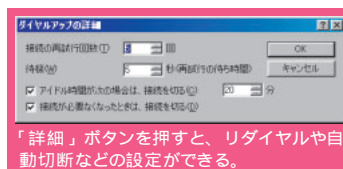
「ダイヤルアップネットワーク」の設定と同じ

2 プロバイダーの設定

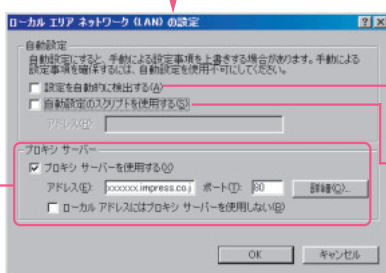
プロキシの設定を自動的に検出

プロキシの設定ファイルのURLを指定

IE5では、「ダイヤルアップネットワーク」の各接続とLAN接続でプロキシサーバーなどの設定が個別にできるようになった。接続先を切り替えるだけでプロキシの設定も切り替わり、今までのように接続先によっていちいち設定を変更する必要がなくなった。また、「WPAD」という仕組みを使ったプロキシの自動設定機能もあり、これに対応したイントラネット環境などでは何も設定しなくても動作できる。

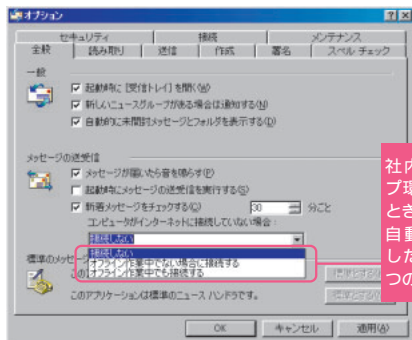


「詳細」ボタンを押すと、リダイヤルや自動切断などの設定ができる。



3 社内LANの設定

◀ アウトルックエクスプレスはここがポイント



社内LANとダイヤルアップ環境とを使い分けたいときは「接続しない」自動的にダイヤルアップしたい場合はその下の2つのどれか

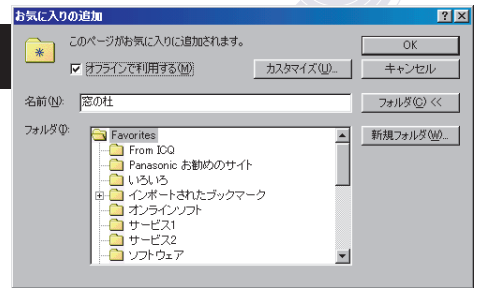
アウトルックエクスプレス5をモバイル環境で使うコツは、「ツール」メニュー「オプション」 「全般」タブで、新着メッセージを定期的にチェックする指定にしている場合に、「コンピュータがインターネットに接続していない場合」の設定を「接続しない」に

することだ。この設定でアウトルックエクスプレスが突然ダイヤルアップ接続を開始することはなくなるし、社内LANでは定期的にメールをチェックする。逆に自動的にダイヤルアップ接続したければそれ以外の項目を選択する。

▶ 同期設定を極める

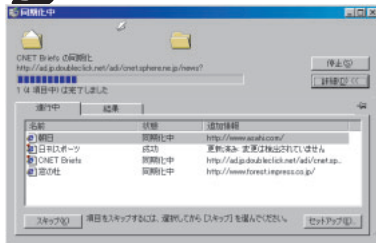
IE 5 をモバイル環境で利用するときには、同期設定が使い方のポイントになる。同期設定とは、あらかじめ指定しておいたウェブページや「Web フォルダ」(http サーバーのフォルダをハードディスクのフォルダのように扱う機能。次ページで解説)内のファイルをインターネット接続中にパソコンのハード

ディスクのファイルと同期させておき、オフライン時にはハードディスク内のファイルをゆっくり閲覧するというものだ。「オフラインで使用する」と指定したお気に入りのページを例にして、同期設定の方法をじっくり調べてみよう。

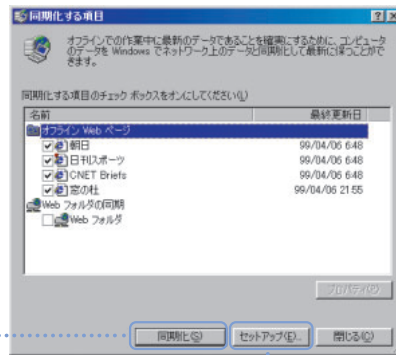


1 定期的に同期してオフラインで読みたいウェブページをお気に入りに登録する。「オフラインで利用する」をチェックする。

3

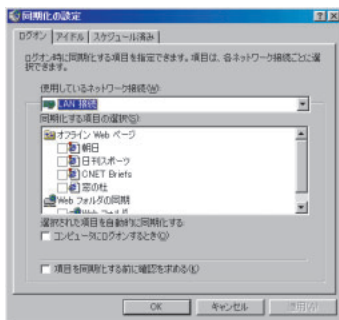


「同期化」ボタンを押すとただちにサーバーとハードディスク上にあるファイルが同期され、同じ内容になる。



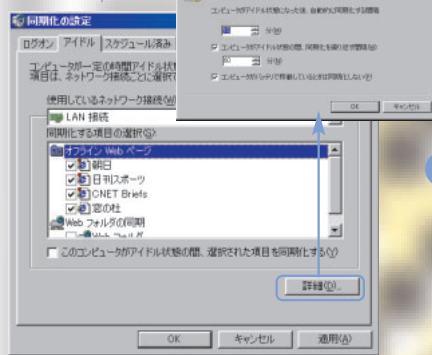
2

IE 5 の「ツール」メニュー「同期」を選択。「同期化する項目」画面が表示される。ここで同期させたい項目にチェックを付ける。



4

「セットアップ」ボタン「ログオン」タブで、ネットワークにログインしたときに同期させる項目を選択できる。

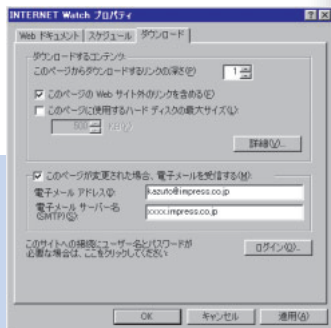
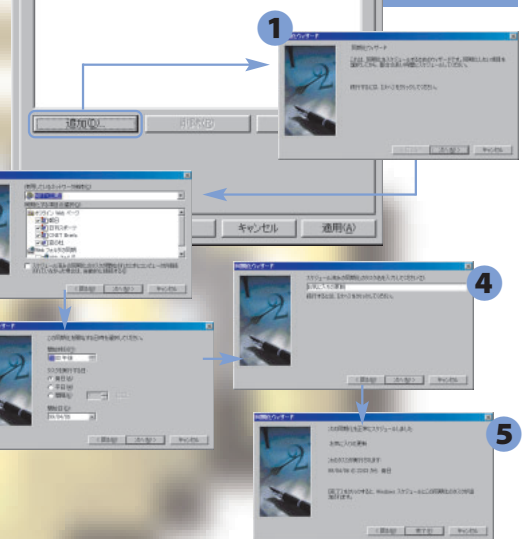


5

「セットアップ」ボタン「アイドル」タブで、パソコンが一定の時間何もしない状態のときに同期させる項目を選択できる。「詳細」ボタンで待ち時間と繰り返す間隔を指定する。

6

「セットアップ」ボタン「スケジュール済み」タブで、「毎日」や「何日おき」など、あらかじめ決めたスケジュールで同期を行うこともできる。スケジュールの設定は、ウィザード形式で質問に答えていく形で設定する。



ページの同期を細かく設定する

お気に入りのページの同期は、IE 4 では「購読」と呼ばれていた機能だ。「同期化する項目」画面でページを選んで「プロパティ」ボタンを押すか、IE の「お気に入り」メニューからページを選んで右クリックし、「プロパティ」を選べば、ダウンロードするリンクの深さやページが変更された場合に電子メールで通知するなどの設定ができる。

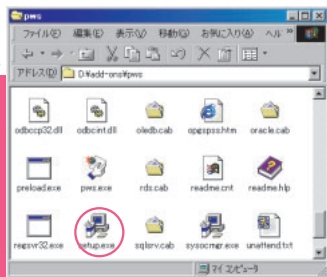
Webフォルダで 情報共有せよ!

チューンアップ 6

IE 5の「Webフォルダ」は、WWWサーバーと連携してウェブをハードディスク上のフォルダのように扱う機能だ。この夏出荷予定のオフィス2000では、ワードやエクセルでもWebフォルダを使えるようになる。未来の機能を先取りしよう。

1

WWWサーバーとするマシンにパーソナルウェブサーバーをインストールする。ウィンドウズ98のインストールCDの「add-ons」フォルダにある「setup.exe」を起動する。



◀ パーソナルウェブサーバーを動かす

Webフォルダは、フロントページエクステンションが「WebDAV」(Distributed Authoring and Versioning)の機能を持つWWWサーバーがあれば利用できる。ウィンドウズ98に付属するパーソナルウェブサーバーやNTサーバーに含まれているインターネットインフォメーションサーバーを社内のサーバーや自宅のパソコンに入れば、ウェブを使った情報共有が簡単にできる。ここではP

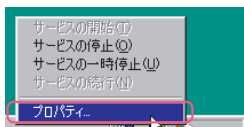
ライベートIPアドレスを指定した環境で、ウィンドウズ98上でパーソナルウェブサーバーを使う場合について解説しよう。

なお、Webフォルダはあくまでイントラネット向けの機能だ。プロバイダー経由でインターネットを利用するだけで、会社や自宅のWWWサーバーを使うわけではない人は、IE5のインストールでWebフォルダを選択する必要はない。

2



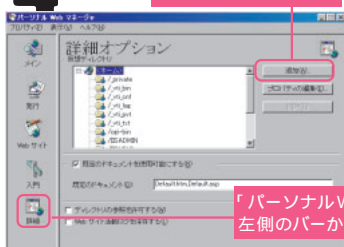
インストールプログラムの指示に従ってインストールする。「標準」インストールを選べば、フロントページ98サーバーエクステンションが自動的に入る。



パーソナルウェブサーバーをインストールして再起動したら、タスクバーにあるアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶ。

3

4



「追加」ボタンを押す。

「パーソナルWebマネージャ」の左側のバーから「詳細」を選ぶ。



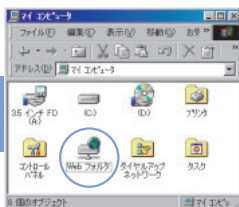
「ディレクトリ」にWebフォルダにしたいフォルダを「c:\inetpub\wwwroot\public」のように指定する。

5

「エイリアス」にはURLのパス名を「public」のように指定する。WWWサーバーのマシンのプライベートIPアドレスが「192.168.0.1」なら、WebフォルダのURLは「http://192.168.0.1/public/」となる。

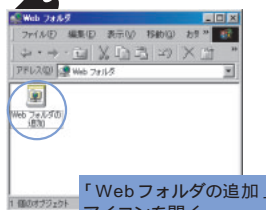
1

「マイコンピュータ」の下にある「Webフォルダ」アイコンを開く。



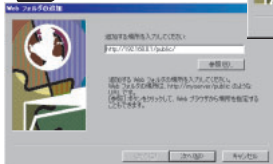
◀ Webフォルダを設定する

2



「Webフォルダの追加」アイコンを開く。

3

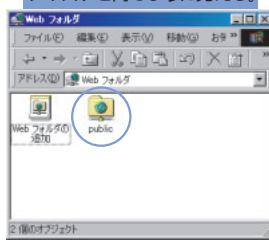


Webフォルダに名前を付け、「完了」ボタンを押す。



WebフォルダのURL(上記の例ではhttp://192.168.0.1/public/)を指定し、「次へ」ボタンを押す。

Webフォルダの中に指定したURLを表すアイコンができた。このアイコンを開くと、WWWサーバーの中がハードディスクと同じように見える。

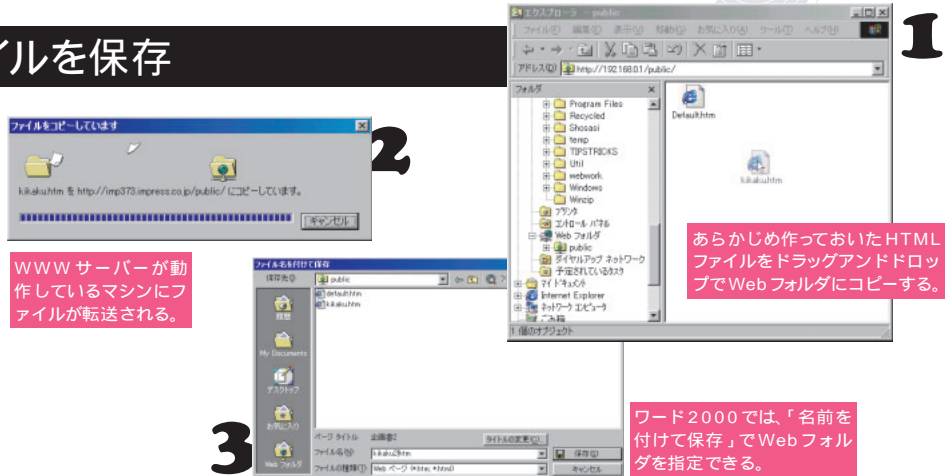


パーソナルウェブサーバーなどのWWWサーバーに接続されたマシンでWebフォルダを設定する。IE5をインストールするときにWebフォルダを選択してあれば(P.194参照)、マイコンピュータの下にWebフォルダのアイコンができています。ここにURLを登録すれば、WWWサーバーをファイルサーバーのように使える。

5

▶ Webフォルダにファイルを保存

Web フォルダは、オフィス2000のアプリケーションでは普通のフォルダのように直接読み書きができる。それ以外のソフトウェアでは、いったんファイルを作成して、ウィンドウズのエクスプローラを使ってファイルをWebフォルダにコピーしたり、Webフォルダからファイルをハードディスク内のフォルダにコピーしたりすればいい。



2
ファイルのコピーをしています

WWW サーバーが動作しているマシンにファイルが転送される。

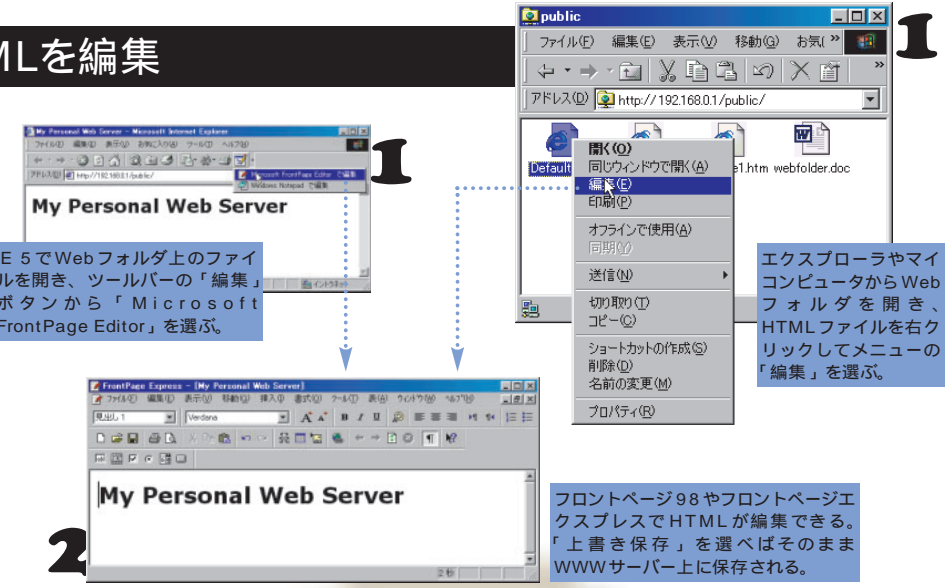
あらかじめ作っておいたHTMLファイルをドラッグアンドドロップでWebフォルダにコピーする。

ワード2000では、「名前を付けて保存」でWebフォルダを指定できる。

▶ WebフォルダでHTMLを編集

Web フォルダ上のファイルは普通のファイルと同じように見えるが、WWWサーバー上にあるため、開くときにはIE 5が使われる。ただしHTMLファイルの場合は、右クリックメニューの「編集」を選べばフロントページ98やフロントページエクスプレスで直接編集できる。

Web フォルダ上のファイルをIE 5で開いているときに、ツールバーの「編集」ボタンを押してフロントページ98やフロントページエクスプレスで編集する方法もある。オフィス2000では、HTML形式で保存したワードやエクセルの文書もIE 5のツールバーから編集できるようになる。



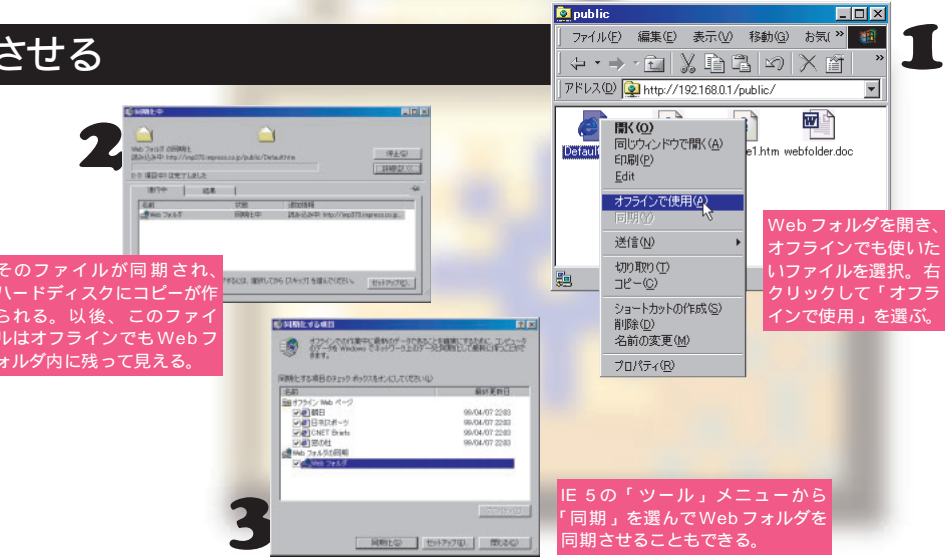
1
IE 5でWebフォルダ上のファイルを開き、ツールバーの「編集」ボタンから「Microsoft FrontPage Editor」を選ぶ。

エクスプローラやマイコンピュータからWebフォルダを開き、HTMLファイルを右クリックしてメニューの「編集」を選ぶ。

フロントページ98やフロントページエクスプレスでHTMLが編集できる。「上書き保存」を選べばそのままWWWサーバー上に保存される。

▶ Webフォルダを同期させる

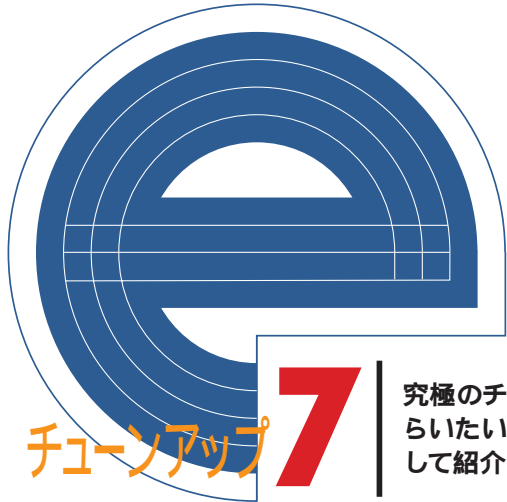
P.203で紹介したIE 5の同期機能は、Webフォルダにも使える。Webフォルダを同期させるとハードディスクにWWWサーバー上のファイルがコピーされ、オフラインの状態でも別のマシンにあるWebフォルダが見えるようになる。社内で共有する文書をHTMLファイルにしてWebフォルダ上に置き、別マシンから同期させてモバイル環境でも閲覧するといった使い方ができる。同期の設定では、Webフォルダ内のファイルを1つずつ指定したり、Webフォルダに設定したフォルダ（左ページの例では「public」）をまるごと指定したりする方法がある。



2
そのファイルが同期され、ハードディスクにコピーが作られる。以後、このファイルはオフラインでもWebフォルダ内に残って見える。

Webフォルダを開き、オフラインでも使いたいファイルを選択。右クリックして「オフラインで使用」を選ぶ。

IE 5の「ツール」メニューから「同期」を選んでWebフォルダを同期させることもできる。



internet explorer 5 tune up!

詳細設定を知りつくせ!

究極のチューンアップ。それが「詳細設定」だ。ここでは、ぜひとも変更してもらいたい項目がいくつも隠れている。ここでは特に重要なものだけをピックアップして紹介しよう。この設定を行えば、より快適にIE5を使えるはずだ。

▼IE 5の詳細設定を完全制覇

詳細設定は「ツール」メニュー「インターネットオプション」「詳細設定」タブにある。IEが不安定になったときに役に立つ「別々のプロセスでブラウザを起動する」やラジオバーを常に表示させる「常にInternet Explorer ラジオバーを表示する」など、小粒だがピリリと利いた設定ができる。IE5の詳細設定を下の表にまとめてみた。自分に何が必要なかをチェックしよう。

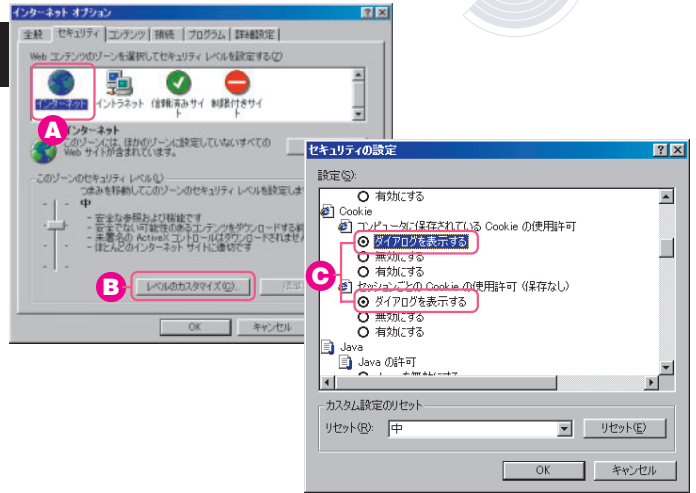
IE5の詳細設定(「ツール」メニュー「インターネットオプション」「詳細設定」タブ)

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	初期設定	説明
HTTP 1.1 設定	HTTP 1.1 を使用する プロキシ接続で HTTP 1.1 を使用する		HTTP 1.1 を使ってサーバーに接続する。	HTTP 1.1 を使ってサーバーに接続する。
Java VM	Java JIT コンパイラの使用 (再起動が必要) Java コンソールの使用 (再起動が必要) Java のログの使用		Microsoft VM コンパイラを使って、高速に Java アプレットを実行する。 Java コンソールを使うようにする。 Java プログラムを実行するとログが作成される。	Microsoft VM コンパイラを使って、高速に Java アプレットを実行する。 Java コンソールを使うようにする。 Java プログラムを実行するとログが作成される。
"アドレスバー"からの検索	検索するとき アドレスバーから検索しない メインウィンドウに検索結果を表示する 検索結果を表示し、可能性の高いサイトへ移動する 最も可能性の高いサイトに移動する		アドレスバーで検索できない。 入力した文字の検索結果をメインウィンドウに表示する。 該当するサイトに近いものを「検索」エクスプローラバーにリストアップする。 該当するサイトに近いものをメインウィンドウにリストアップする。	アドレスバーで検索できない。 入力した文字の検索結果をメインウィンドウに表示する。 該当するサイトに近いものを「検索」エクスプローラバーにリストアップする。 該当するサイトに近いものをメインウィンドウにリストアップする。
セキュリティ	Fortezza を使用する PCT 1.0 を使用する SSL 2.0 を使用する SSL 3.0 を使用する TLS 1.0 を使用する サーバーの認証の取り消しを確認する (再起動が必要) フォームの送信がリダイレクトされた場合に警告する ブラウザを開いたとき、[Temporary Internet Files]フォルダを空にする プロファイルアシスタントを使用する 暗号化されたページを、ディスクに保存しない 証明の取り消しを確認する 保護付き/保護なしのサイト間を移動する場合に警告する 無効なサイト証明について警告する		Fortezza Crypto Card というカードを使うウェブサイトにアクセスできるようにする。 PCT (Private Communications Technology) を使って情報を送受信できる。 SSL 2 (Secured Sockets Layer Level 2) を使って情報を送受信できる。 より安全性の高い SSL 3 (Secured Sockets Layer Level 3) を使って情報を送受信できる。 TLS (Transport Layer Security) を使って重要な情報を送受信できるようにする。 ウェブサイトの証明が取り消されていないかどうかを確認する。 フォームで入力した情報の送信先がフォームの保存先と異なるときに警告する。 IE5を終了するときに、キャッシュされたファイルを削除する。 アンケートフォームなどで、自動的に名前や住所などを入力してくれる。 重要な情報をキャッシュの中に保存しない。 ソフトウェアの発行元からの証明が取り消されていないかどうかを確認する。 セキュリティで保護されたサイトと保護されていないサイト間を移動するときに警告する。 ウェブサイトのセキュリティ証明に含まれる URL が無効なときに、警告を表示する。	Fortezza Crypto Card というカードを使うウェブサイトにアクセスできるようにする。 PCT (Private Communications Technology) を使って情報を送受信できる。 SSL 2 (Secured Sockets Layer Level 2) を使って情報を送受信できる。 より安全性の高い SSL 3 (Secured Sockets Layer Level 3) を使って情報を送受信できる。 TLS (Transport Layer Security) を使って重要な情報を送受信できるようにする。 ウェブサイトの証明が取り消されていないかどうかを確認する。 フォームで入力した情報の送信先がフォームの保存先と異なるときに警告する。 IE5を終了するときに、キャッシュされたファイルを削除する。 アンケートフォームなどで、自動的に名前や住所などを入力してくれる。 重要な情報をキャッシュの中に保存しない。 ソフトウェアの発行元からの証明が取り消されていないかどうかを確認する。 セキュリティで保護されたサイトと保護されていないサイト間を移動するときに警告する。 ウェブサイトのセキュリティ証明に含まれる URL が無効なときに、警告を表示する。
ブラウズ	HTTP エラーメッセージを簡易表示する Internet Explorer の更新について自動で確認する URL を簡易表示する Web アドレス用のインラインオートコンプリートを使用する Web ベースの FTP を使用する Windows エクスプローラのインラインオートコンプリートを使用する アドレスバーに [移動] ボタンを表示する いつも UTF-8 として URL を送信する オンデマンドでのインストールを行う スクリプトエラーごとに通知を表示する スクリプトのデバックを使用しない スケジュールに従ってオフライン項目の同期をとる スムーズスクロールを使用する ダウンロードの完了を通知する チャンネルバーを起動時に表示 (Active Desktop がオフの場合) デスクトップに Internet Explorer を表示する ページのヒットカウントを使用する ページの切り替えを行う リンクの下線 ポイントしたときに表示する 常に表示する 表示しない 別々のプロセスでブラウザを起動する 履歴およびお気に入りでの使用されていないフォルダを閉じる		ウェブサーバーへの接続が失敗したときに、解決のヒントなどを表示する。 IE の最新バージョンがあるかどうかを 30 日ごとに自動的に確かめる。 ステータスバーにリンクを「internet.impress.co.jp のショートカット」のように表示する。 以前アクセスしたウェブサイトなら、URL の一部を入力すれば残りの URL を補完する。 FTP をフォルダー表示しない。 以前開いたフォルダーなら、階層の一部を入力すれば残りの階層を補完する。 アドレスバーに「Enter」キーを押さなくて済む「移動」ボタンを表示する。 どのような言語を含む URL でもやり取りできるようにする。 表示するウェブページに必要なコンポーネントなどを自動的に表示する。 ウェブサイトのスクリプトエラーが見つかるたびにその通知を表示する。 スクリプトデバッガーがインストールされているときに、これを無効にする。 オフライン項目を、その項目に設定したスケジュールに沿って、自動的に更新 (同期) する。 画面のスクロールがスムーズになる。 ダウンロードが終わるとそれを知らせるメッセージが表示される。 チャンネルバーをデスクトップに表示する。 Internet Explorer のショートカットアイコンをデスクトップに表示する。 表示したウェブサイトのログが作られる。 現在のページをフェードアウトして、次のページにフェードインする。 リンクにマウスカーソルを合わせたときだけ下線を表示する。 リンクには常時下線を表示する。 リンクに下線は表示しない。 IE5 がハングアップしたとき、ほかのアプリケーションが影響を受けなくなる。 ほかのフォルダに移ったときに、今まで開いていたフォルダを自動的に閉じる。	ウェブサーバーへの接続が失敗したときに、解決のヒントなどを表示する。 IE の最新バージョンがあるかどうかを 30 日ごとに自動的に確かめる。 ステータスバーにリンクを「internet.impress.co.jp のショートカット」のように表示する。 以前アクセスしたウェブサイトなら、URL の一部を入力すれば残りの URL を補完する。 FTP をフォルダー表示しない。 以前開いたフォルダーなら、階層の一部を入力すれば残りの階層を補完する。 アドレスバーに「Enter」キーを押さなくて済む「移動」ボタンを表示する。 どのような言語を含む URL でもやり取りできるようにする。 表示するウェブページに必要なコンポーネントなどを自動的に表示する。 ウェブサイトのスクリプトエラーが見つかるたびにその通知を表示する。 スクリプトデバッガーがインストールされているときに、これを無効にする。 オフライン項目を、その項目に設定したスケジュールに沿って、自動的に更新 (同期) する。 画面のスクロールがスムーズになる。 ダウンロードが終わるとそれを知らせるメッセージが表示される。 チャンネルバーをデスクトップに表示する。 Internet Explorer のショートカットアイコンをデスクトップに表示する。 表示したウェブサイトのログが作られる。 現在のページをフェードアウトして、次のページにフェードインする。 リンクにマウスカーソルを合わせたときだけ下線を表示する。 リンクには常時下線を表示する。 リンクに下線は表示しない。 IE5 がハングアップしたとき、ほかのアプリケーションが影響を受けなくなる。 ほかのフォルダに移ったときに、今まで開いていたフォルダを自動的に閉じる。
マルチメディア	アニメーションを再生する サウンドを再生する スマートイメージディザリングを行う ビデオを再生する プレスホルダーへのダウンロードのイメージを表示する 画像を表示する 常に Internet Explorer ラジオバーを表示する		ウェブページにあるアニメーションファイルを再生する。 ウェブページにある音声ファイルを再生する。 画像の縁を滑らかにして表示する。 ウェブページにある動画ファイルを表示する。 画像ファイルすべてを読みこまなくても、読みこんだ後と同様のレイアウトで表示される。 ウェブページにある画像ファイルを表示する。 ラジオバーを常に表示しておく。	ウェブページにあるアニメーションファイルを再生する。 ウェブページにある音声ファイルを再生する。 画像の縁を滑らかにして表示する。 ウェブページにある動画ファイルを表示する。 画像ファイルすべてを読みこまなくても、読みこんだ後と同様のレイアウトで表示される。 ウェブページにある画像ファイルを表示する。 ラジオバーを常に表示しておく。
ユーザー補助	フォーカスや選択範囲の変更に応じてシステムcaretを移動する 常にイメージのALTテキストを展開する		ウィンドウを閉じると消えてしまうラジオバーを常時表示させておく。 フォーカスや選択範囲が変更されるたびにシステムcaretを移動する。 「画像の表示」チェックボックスがオフのとき、代替テキストがきちんと表示される。	ウィンドウを閉じると消えてしまうラジオバーを常時表示させておく。 フォーカスや選択範囲が変更されるたびにシステムcaretを移動する。 「画像の表示」チェックボックスがオフのとき、代替テキストがきちんと表示される。
印刷	背景の色とイメージを印刷する		ウェブページを印刷するときに、背景色とバックグラウンド画像を印刷する。	ウェブページを印刷するときに、背景色とバックグラウンド画像を印刷する。

▶ IEのセキュリティーを設定する

IE 5からクッキー（Cookie）の設定をする場所が変わった。まず、「ツール」メニュー→「インターネットオプション」→「セキュリティ」タブの画面を開く。「ゾーン」から地球のアイコンの「インターネット」^Aを選択して「レベルのカスタマイズ」^Bを選ぶ。この中でクッキーの設定ができる。初期設定では何の警告もなくクッキーのやり取りができる「有効にする」という設定になっている

ので、気になる人は「ダイアログを表示する」^Cにしておこう。Cookie以外の設定のポイントは表にまとめてみた。ぜひ参考にしてほしい。



IE5のセキュリティーの設定（「ツール」メニュー「インターネットオプション」「セキュリティ」タブ）

設定項目 1	設定項目 2	設定項目 3	初期設定 (中)	説明
ActiveX コントロールプラグイン	ActiveX コントロールプラグインの実行	ダイアログを表示する 管理者の許可済み 無効にする 有効にする		初期設定では「有効にする」になっていて、ActiveX コントロールが自動的に実行される。もし、これが気になるのなら、「ダイアログを表示する」にしておこう。
Cookie	コンピュータに保存されている Cookie の使用許可 セッションごとの Cookie の使用許可 (保存なし)	ダイアログを表示する 無効にする 有効にする ダイアログを表示する 無効にする 有効にする		初期設定のままだと Cookie は、確認のメッセージもなくハードディスクに保存される。また、逆にハードディスク内の Cookie をウェブサイトから読める状態だ。これが気になる人は、「ダイアログを表示する」にしておこう。ただし、最近の企業のウェブサイトのほとんどが Cookie を使っているため、ダイアログが出ればかきいってしまう状況になりかねない。
Java	Java の許可	Java を無効にする カスタム 安全性 - 高 安全性 - 中 安全性 - 低		初期設定は「高」になっている。このままでも問題ないが、「Java を無効にする」という設定もある。
スクリプト	アクティブスクリプト	ダイアログを表示する 無効にする 有効にする		アクティブスクリプトとは Java スクリプトと VB スクリプトのことだ。初期設定では「有効にする」になっている。これも気になる人は「ダイアログを表示する」にしておこう。

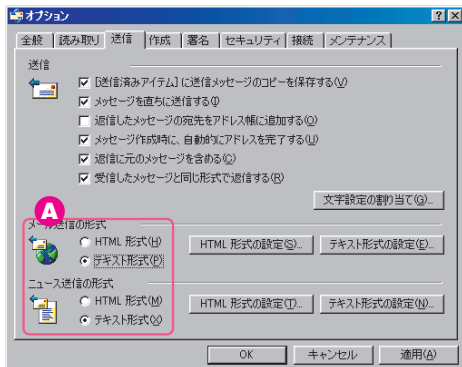
▼ アウトルックエクスプレスの設定はこうする

最初に設定しておきたいのが、メールの送信形式の設定だ。この設定は「ツール」メニュー「オプション」「送信」で行う。アウトルックエクスプレス5も以前のバージョンと同様に「HTML形式」が初期設定になっているので、「テキスト形式」^Aにしておこう。ニュースの送信形式も同様だ。

次に、送信するメールの1行の文字数を変更しよう。相手側のメールソフトによっては、1行の文字数が80文字を超える

と変なところで勝手に改行されてしまい、非常に読みにくいメールになってしまうからだ。適切な文字数は60文字から70文字（全角では30文字から35文字）程度。この文字数で自動的に改行されるように設定しよう。「ツール」メニュー「オプション」「送信」ダイアログの「テキスト形式の設定」ボタンを押す。ここで「76」となっているところを「70」に変えればOKだ。

アウトルックエクスプレスの設定（「ツール」メニュー「オプション」）



ダイアログ名	設定項目
全般	起動時のアクションや着信メッセージをチェックする時間などを設定できる。
読み取り	メッセージを読むときのフォントなどを設定できる。
送信	メール送信の形式（HTML形式かテキスト形式か）などを設定できる。
作成	作成時のメールのフォントなどを設定できる。
署名	メールのフッターに付ける署名の設定ができる。IE5ではアカウントごとに署名を変えられる。
セキュリティ	メールの内容と添付ファイルを暗号化して送ったり、デジタル署名を追加したりする。
接続	インターネットへの接続の設定の変更ができる（IEなどと共通の接続設定）。
メンテナンス	終了時に「削除済みアイテム」からメールを削除するかどうかの設定やログファイルの設定を行う。

メールアカウントの設定（「ツール」メニュー「アカウント」）

ダイアログ名	設定項目
全般	名前や会社名、電子メールアドレスなどのユーザー情報を設定できる。
サーバー	POP3サーバー、SMTPサーバー、アカウント名などを設定できる。
接続	接続先を設定できる。
セキュリティ	S/MIMEを使ったセキュリティーメールの設定やデジタルIDの所得などを行える。
詳細設定	サーバーにメッセージを残す、サーバーから何日後に削除するといった項目の設定ができる。

最強のメッセージ ルールを作れ!

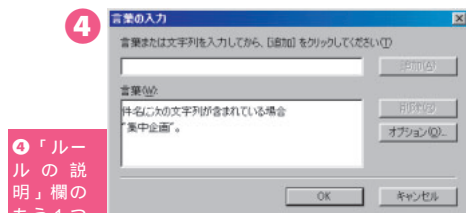
チューンアップ 8

メッセージの整理はメールソフトの中心となる機能だ。アウトLOOKエクスプレス5を使いこなすことは、メッセージルールを使いこなすことだと言ってもいい。いくつもの条件を設定した高度なルールを作ってメール環境を快適にしよう。

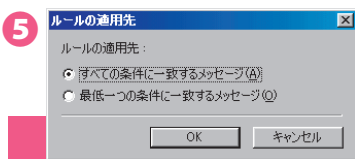
メッセージルールはこう作る

「メッセージルール」とは、メッセージを受信したときに、そのメッセージに対してさまざまな機能（アクション）を自動的に適用するものだ。フォルダーへの振り分けだけでなく、「色を付ける」などさまざまなアクションが用意されている。

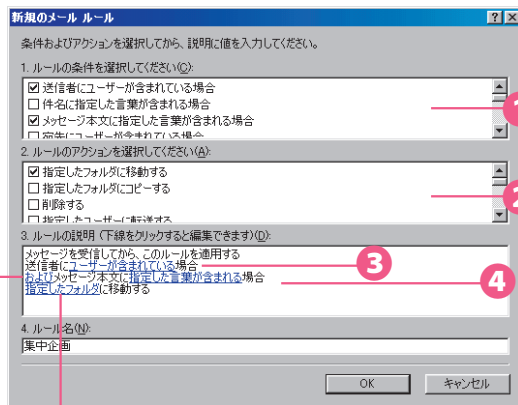
新しいルールを作るには、「ツール」メニュー「メッセージルール」「メール」を選ぶ。ルールが1つもない場合は、「新規のメールルール」画面が表示される。すでにルールがある場合は、「メッセージルール」画面の「新規作成」ボタンを押す。



4 「ルール」の「説明」欄の「条件」をクリックした画面。件名やメッセージ本文を条件にした場合は「言葉の入力」画面になる。言葉を入力して「追加」ボタンを押す。複数の言葉を条件にできる。



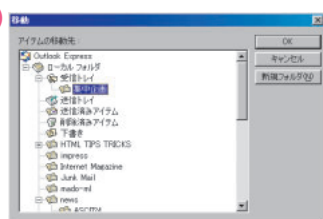
5 条件を複数選択した場合は、「および」という青い文字が表示される。これをクリックすると「ルールの適用先」画面が表示される。「すべての条件に……」を選ぶと複数の条件がすべて当てはまるメッセージにアクションが適用される。「最低1つの条件に……」を選ぶと、複数の条件のうちどれかが当てはまるメッセージにアクションが適用される。



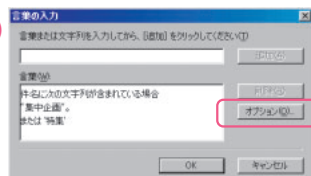
1 受信したメッセージに適用する条件をチェックして選択する。複数の条件を選択できる。条件を選択すると、下の「ルールの説明」欄に選択した条件が現れる。

2 受信したメッセージが選択した条件と一致したときのアクションをチェックして選択する。複数のアクションを選択できる。アクションを選択すると、下の「ルールの説明」欄に選択したアクションが現れる。

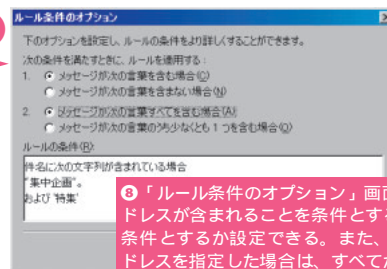
3 「ルールの説明」欄の青い文字をクリックして詳しい条件を指定する。送信者などメールアドレスを条件にした場合は「ユーザーの選択」画面になる。アドレスの一部を入力して「追加」ボタンを押す。複数のアドレスを条件にできる。



6 「ルールの説明」欄に表示されたアクションの青い文字をクリックすると、アクションの詳しい設定ができる。フォルダーへの移動やコピーを選んだ場合は、フォルダー選択画面になる。



7 「ユーザーの選択」や「言葉の入力」画面では、「オプション」ボタンを押してさらに詳しい設定ができる。



8 「ルール条件のオプション」画面では、言葉やメールアドレスが含まれることを条件とするか、含まれないことを条件とするか設定できる。また、複数の言葉やメールアドレスを指定した場合は、すべてが含まれることを条件とするか、どれかが含まれることを条件とするか設定できる。

メッセージルールの条件

条件	表示される設定画面
送信者にユーザーが含まれている場合	ユーザーの選択
件名に指定した言葉が含まれる場合	言葉の入力
メッセージ本文に指定した言葉が含まれる場合	言葉の入力
宛先にユーザーが含まれている場合	ユーザーの選択
CCにユーザーが含まれている場合	ユーザーの選択
宛先またはCCにユーザーが含まれている場合	ユーザーの選択
メッセージの重要度が指定した重要度である場合	重要度の設定
メッセージが指定したアカウントから送信された場合	アカウントの選択
メッセージのサイズが指定したサイズ以上の場合	サイズの設定
メッセージに添付ファイルがある場合	
メッセージが指定されたセキュリティ状態である場合	セキュリティ設定
すべてのメッセージに適用する	

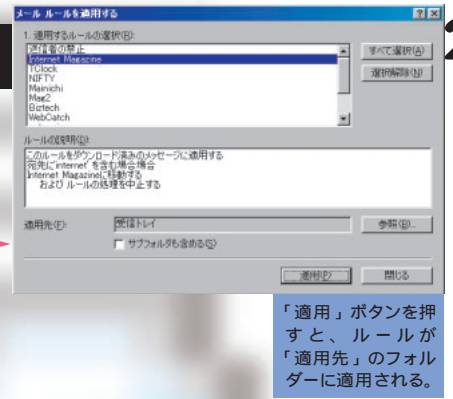
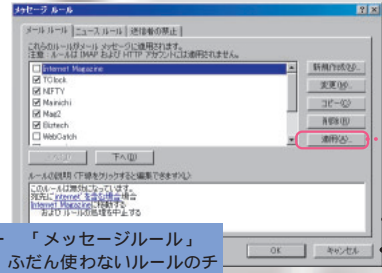
メッセージルールのアクション

アクション	表示される設定画面
指定したフォルダに移動する	移動 (フォルダーの選択)
指定したフォルダにコピーする	コピー (フォルダーの選択)
削除する	
指定したユーザーに転送する	ユーザーの選択
指定した色で強調表示する	色の選択
フラグを付ける	
すべて開封	
メッセージが表示または無視の状態である場合	表示または無視
指定したメッセージで返信する	開く (eml ファイルの選択)
ルールの処理を中止する	
サーバーからダウンロードしない	
サーバーから削除する	

▶メッセージルールはあとから適用できる

メッセージを受信するたびに複雑なルールをいくつも適用していると、スピードの低下が心配になる。しばらくの間「受信トレイ」に残しておきたいメッセージに対するルールは、受信の際には適用されないようにしておき、ときどき手作業で適用してメッセージを整理するのがうまいやり方だ。

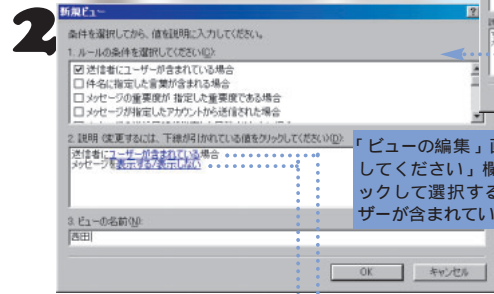
「ツール」メニュー「メッセージルール」「メール」を選ぶ、ふだん使わないルールチェックははずしておく。手作業で適用したい場合は、ルールを選択して「適用」を押す。



「適用」ボタンを押すと、ルールが「適用先」のフォルダに適用される。

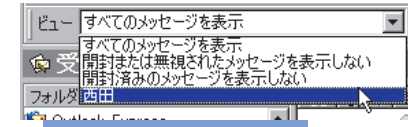
▶ビューを使いこなす

「ビュー」とは、メッセージルールのように条件を設定して、フォルダ内のメッセージを表示するかしないかを定めるものだ。ビューを複数設定して、フォルダのビューを切り替えれば、探しているメッセージを簡単に見つかる。新しいビューを作るには、「表示」メニュー「現在のビュー」「ビューの定義」を選ぶ。



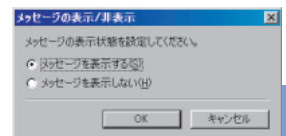
「ビューの編集」画面の「ルールの条件を選択してください」欄で条件としたい項目をチェックして選択する。ここでは「送信者にユーザーが含まれている場合」を選んでみた。

「ビューの定義」画面で「新規作成」ボタンを押す。

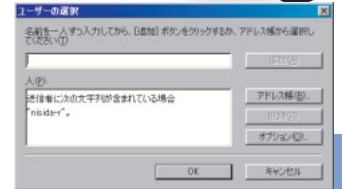


作成したビューの名前をビューバーから選べば、フォルダにビューが適用される。

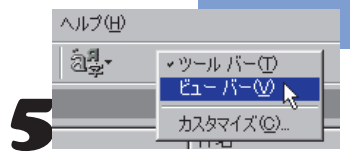
アウトロックエクスプレスのツールバーを右クリックして「ビューバー」を選ぶ。



「表示する / 表示しない」という青い文字をクリックして、メッセージを表示させるかさせないかを指定する。

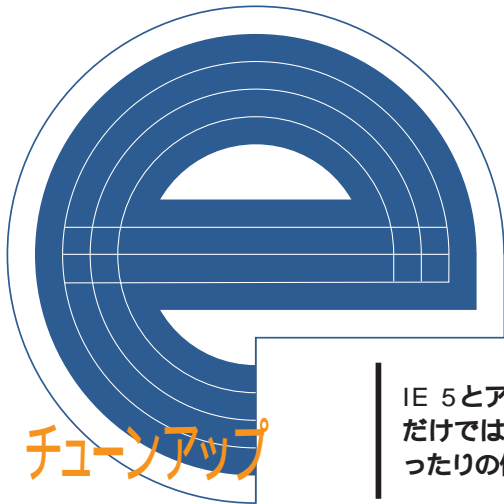


「ユーザーが含まれている」という青い文字をクリックすれば、メッセージルールの設定と同じ「ユーザーの選択」画面になる。

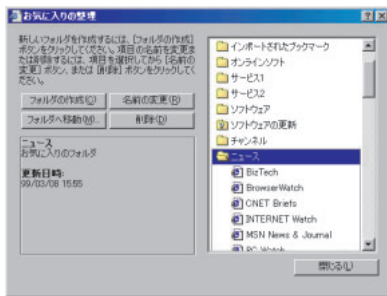


internet explorer 5 tune up!

最新機能を 完全マスターせよ!



IE 5とアウトルックエクスプレス5の新機能は、前ページまでに紹介してきたものだけではなく、最後にそのほかの重要な新機能を急ぎ足で見てみよう。自分にぴったりの便利な機能が見つければ、ぜひとも使いこなせるようになってほしい。



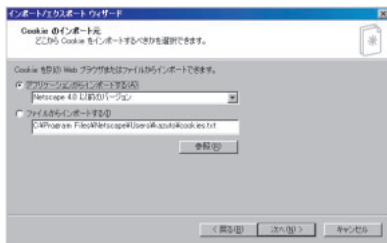
お気に入りの整理は簡単だ

「お気に入りの整理」画面が新しくなった。ボタンを押して各機能を呼んでもいいが、画面右のリストでアイコンをドラッグしたり右クリックしたりして操作するのが本格的だ。



アドレスの自動補完をうまく使う

キーボード派の人は、アドレスの自動補完が表示されたら、すかさずTabキーを連打して目的のURLでEnterキーを押すのが速い。自動補完の表示は履歴の数が多くなるとスピードが落ちることに注意。



お気に入りとクッキーを再利用

「ファイル」メニュー 「インポートおよびエクスポート」を選べば、お気に入りとクッキーのデータをネットスケープナビゲーターからインポートしたり、ナビゲーターにエクスポートしたりできる。

◀ IE 5の新機能を完全マスター!

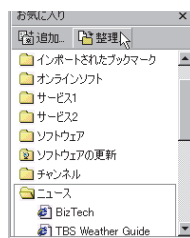


「移動」ボタンでジャンプする

URLが書かれたテキストがあれば、クリップボードにコピーしよう。アドレスバーのテキストを右クリックして「貼り付け」を選び、「移動」ボタンを押せば、マウス操作だけでそのページにジャンプできる。

お気に入りバーのボタンを使う

お気に入りバーの上部には、新しくボタンが2つ付いた。「追加」を押せば表示しているページをお気に入りの追加する。「整理」を押せば「お気に入りの整理」画面を表示する。お気に入りバーを常に表示させておき、かたっぱしから「追加」ボタンで登録していくのもいいだろう。



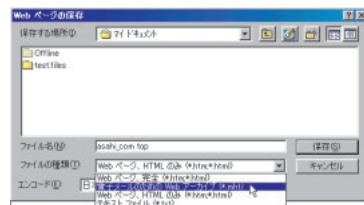
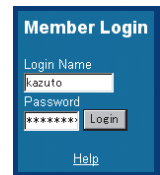
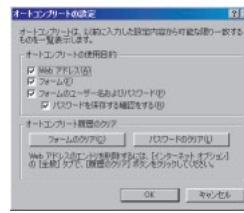
履歴バーの表示は4種類

履歴バーで「表示」ボタンを押すと、「日付順」、「サイト順」、「サイトを表示した回数順」、「今日表示したページ順」の4つの表示モードが選べる。おすすめは「今日表示したページ順」だ。ずっと前に表示したページに戻りたいときに、クリック1回でジャンプできる。



フォームの自動補完に注意

ユーザー名とパスワードを入力させるページでは、保存したパスワードが自動的に入力される機能が便利だ。パソコンを共用している人にパスワードを使われないか心配な場合は、「ツール」メニュー 「インターネットオプション」 「コンテンツ」タブ 「オートコンプリート」ボタンで表示される画面でパスワード保存をオフにできる。

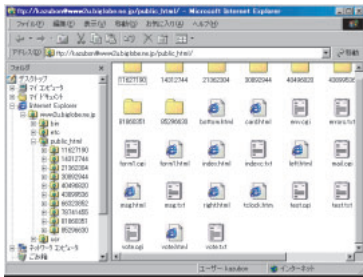


ページはまるごと保存できる

「ファイル」メニュー 「名前を付けて保存」を選んだとき、「ファイルの種類」で「Web ページ、完全」を選べば、HTML ファイルとともにページ中の画像も保存できる。「電子メールのための Web アーカイブ」を選べば、HTML と画像を1つのファイルに納めた形式 (mht ファイル) で保存できる。

FTPをフォルダーのように使う

IE 5のインストール時に「Internet Explorer ブラウズ拡張機能」を選択すると(P.194参照) ウィンドウズのエクスプローラでFTPサイトをハードディスク上のフォルダーのように表示できる。ただしドラッグアンドドロップではファイルをダウンロードできないので注意。ダウンロードするときは、ファイルを右クリックして「フォルダへコピー」を選ぶ。アップロードはドラッグアンドドロップで可能だ。



多国語の表示ができる

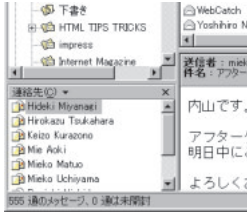
IE 5ではヨーロッパの各国語のほか、韓国語、中国語、ベトナム語、タイ語、アラビア語、ヘブライ語を表示できる。IE 5のインストール時に「言語サポート」をインストールしていなくても、「表示」メニュー「エンコード」「その他」で言語を選べば、「言語サポート」をインストールするかどうか質問する画面が表示される。



▶ アウトルックエクスプレス5の新機能を完全マスター!

アドレス帳を常に表示する

アウトルックエクスプレス5の画面の左下には、アドレス帳に含まれる宛先のリストが表示される。ここで名前をダブルクリックすれば、その宛先への新規メールを作成する画面になる。



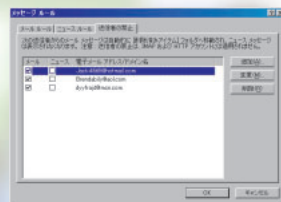
複数のメールアドレスを使い分ける

アウトルックエクスプレス5はメールアドレスを複数持っている人にはさらに使いやすくなった。ツールバーの「送受信」ボタンの横の矢印を押せば、どのアカウントのメールを送受信するかを選択できる。メール作成画面で「送信者」を選べば、どのアカウントで送信するかを選択できる。



スパムメールを禁止する

特定のメールアドレスからダイレクトメールなどの迷惑なメールが届く場合は、メッセージを選択して「メッセージ」メニューの「送信者の禁止」を選べば、その送信元からのメールを自動的に「削除済みフォルダ」に移動する設定ができる。



ツリー表示で会話を楽しむ

アウトルックエクスプレス5では、メッセージがどのメッセージを参照しているかを表すメールヘッダー(References)に対応し、メッセージの関係をツリーで表示する機能が付いた。ただし、他のメールソフトの多くが対応している「In-Reply-To:」ヘッダーには対応していない。

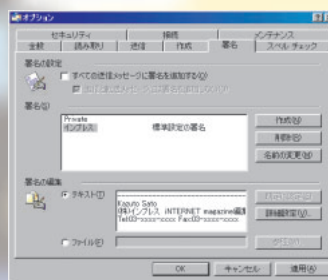
送受信	件名	送信日時	サイズ
送	Kiharu Himatashi	99/04/05 15:01	5KB
受	Ryuichi Nishida	RE: FW: intranet 99/04/05 20:00	5KB
受	Keizo Kurazono	RE: FW: intranet 99/04/06 16:11	5KB
受	Keizo Kurazono	intranet 99/04/02 13:20	2KB
受	Keizo Kurazono	FW: intranet 99/04/05 13:14	4KB

家族でパソコンを共有する

家庭など複数の人間で1台のパソコンを共有している環境では、マルチユーザー機能が役に立つ。「ファイル」メニュー「ユーザー」で「ユーザーの追加」を選んで新しいユーザーの設定をすれば、自分独自の設定でアウトルックエクスプレスを使用できる。ユーザーは、「ファイル」メニュー「ユーザーの変更」で切り替えられる。

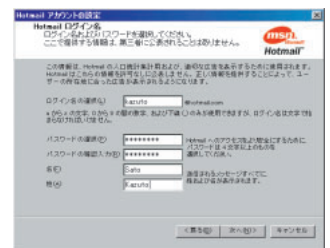
署名は複数作成できる

長らく待たれていた署名を複数作成する機能もサポートされた。「ツール」メニュー「オプション」「署名」タブで「作成」ボタンを押せば、署名をいくらかでも追加できる。「詳細設定」ボタンを押せば、署名をどのメールアドレスに関連付けるかを選択できる。メッセージ作成画面では、「挿入」メニュー「署名」を選べば作成した署名の一覧が表示される。



Hotmailを利用する

MSNの無料ウェブメールサービスHotmailをアウトルックエクスプレス5から利用できるようになった。「ツール」メニュー「新しいアカウントのサインアップ」を選べば、Hotmailの申し込み画面が表示され、申し込みが終わると自動的にHotmailがメールアドレスの設定に加えられる。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp